実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成年度	令和７年度
助成団体	北海道士別市
事業細目名	スポーツ教室、スポーツ大会等開催（地方）
事業名	第 38 回サフォークランド士別ハーフマラソン大会開催事業
助成金額	7,802,000 円

令和７年度地方公共団体スポーツ活動助成を受け、北海道士別市が令和７年７月 13 日に開催した「第 38 回サフォークランド士別ハーフマラソン大会開催事業」の実施状況について調査を行いました。

士別市は、夏でも涼しい気候の特徴を活かし、スポーツ合宿の受け入れに力を入れており、年間２万人ものアスリートが合宿を行っています。そのような土地柄で行われる本大会は、ハーフマラソンと 10km の部は日本陸上競技連盟公認コースで行われるため、実業団や大学のトップランナーが多数参加する注目度の高い競技大会であるとともに、気軽に参加できる 2km の部やファンラン（2Km）もあり、子どもから大人まで幅広い世代が参加してマラソンに親しめる恒例のイベントとなっています。

■助成の意義

本大会は幼児や高齢者も参加するイベントであるため、誰もが安心して参加できるよう、運営の質の確保、特に安全対策に力を入れていました。助成金を活用することで、消防職員と医師及び看護師を配置し、救護所での医療行為が可能となるなど救護体制の拡大を図れたそうです。また、車両がコース内に進入することが無いよう、警備の強化や進入防止柵を二重に設置するなど、交通安全対策を強化することができたとのことです。さらに、近年の猛暑を受け、今年は暑熱対策としてスタート時間を１時間早めたほか、昨年の２倍の給水所を設置することができ、参加者アンケートを反映し提供した給水スポンジには喜びの声が寄せられるなど、参加者サービスの充実に繋がったそうです。このように、助成金の効果的な活用で、万全の安全対策や、参加者へのサービスの充実など大会水準の維持向上を図ることができたそうです。

■事業効果を高めるための取り組み

大会の周知については、特設ホームページを開設し、市の Facebook に加えて市がスポーツ合宿地としての魅力を発信している「合宿の里 士別」の Facebook や Instagram 等の SNS、市の生活情報アプリによる情報発信や、道内の新聞への広告掲載など多様な媒体を活用されていました。また、ポスターを作成して協賛企業・公共施設・学校・市内外のスポーツ用品店等に配布するほか、過去の参加者に向けてダイレクトメールを送付し、参加者の募集に努めたそうです。

さらに、ゲストランナーを招待し、会場に地元の飲食ブースを出店することにより、参加者だけでなく応援に来た人も楽しめるイベントとして、大変好評を得たそうです。

■所感

本大会は昭和 62 年（1987 年）の第 1 回の開催から今年で 38 回を数える歴史ある大会ですが、参加者や関係者からのアンケートを参考に運営体制や安全対策、参加者サービスの改善を図り続けており、それを実現する中で助成金が有効に活用されていました。

本年度の大会の参加者数 1,627 名のうち、道外から 200 名近くもの参加があったとのことで、長年にわたる市の努力の積み重ねとその効果が感じられました。

これからも本大会によって全国に「合宿の里 士別」の魅力が発信されていくことを願うとともに、地域の活性化及びスポーツの振興につながることを期待しています。

（令和 7 年 11 月 19 日 WEB 会議形式）

（写真）第 38 回サフォークランド士別ハーフマラソン大会の様子（※提供：北海道士別市）



